

進化し続ける未来創造港湾 東京港 物流（内貿・在来）

ユニットロード・フェリー [骨子]

<p>ターミナル施設の機能強化</p>	<p>【ターミナル機能の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ユニットロードターミナルのヤード拡張、新規ふ頭整備 ○ 野積場・上屋の多層利用による機能強化 ○ ターミナル外のストックヤードの活用 ○ モーダルシフト等に対応できる施設能力の確保
<p>荷役の効率化</p>	<p>【最先端技術の活用・荷役の効率化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ サイバーポートの導入（港湾手続きの電子化） ○ シャーシ等の位置情報共有による、搬出入作業の効率化 ○ 自動運転トレーラによる効率化 ○ RORO船・フェリー等の自動離着岸装置の導入 ○ 貨物のトレーサビリティ（サプライチェーンの情報化・見える化）の促進
<p>内貿・外貿ふ頭間の連携の強化</p>	<p>【シームレスかつ安定的な輸送の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ユニットロード・フェリーふ頭と、外貿コンテナふ頭・ロジスティクス施設との円滑な接続（道路の専用レーン化、自動運転の導入、貨物の詰替え円滑化） ○ 農林水産品・食品等の輸出促進に向けた新たな貨物集貨の促進 ○ 内貿・外貿間の連続的なコールドチェーンの確保（冷凍冷蔵倉庫・電源の確保）
<p>カーボンニュートラルポートの実現</p>	<p>【環境にやさしい輸送形態の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ トラックからRORO船・フェリー利用への輸送モードの転換を可能とする施設能力の確保 ○ 陸上電源設備など、船舶への次世代エネルギー（カーボンニュートラルな電力）供給設備等の整備

物流（内貿・在来）取りまとめの方向性（案）

職場環境の改善

【労働環境の改善】

- 自動運航船、自動離着岸装置、自動運転トレーラ等による効率化の実現
- DXの推進により、安全で快適な生産性の高い職場環境の実現
- ユニバーサルデザインの推進

【福利厚生施設の充実】

- みなとの駅（仮称）の整備（大型トレーラが駐車可能、コンビニ・食堂・休憩・交流施設）
- トイレや休憩施設等の充実
- 保育所・託児所の整備

【通勤手段の確保】

- 交通手段の充実（路線・頻度・定時性の確保）
- 自動運転等の最新交通手段の導入

在来（内貿・外貿）

[骨子]

多様な貨物を柔軟に扱える港

【既存の機能を維持する】

- 貨物を確実かつ円滑に取り扱うため、既存機能の維持
- 船舶の大型化に対応した施設整備の推進
- サイバーポートの導入（港湾手続きの電子化）
- 循環資源である静脈貨物の取扱機能の維持

【利用転換を含めふ頭のあり方を検討する】

- 取扱貨物量や岸壁利用頻度の低下したふ頭等について、集約化や利用転換（新たなニーズへの対応）の検討

カーボンニュートラルポートの実現

【環境にやさしいエネルギーの活用の促進】

- 新たなニーズへの対応の検討（次世代エネルギー等）